

学習指導要領		都立小川高校 学カスタンダード
(1) 自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義と課題を理解させ、豊かな自己形成に向けて、他者と共に生きる自己の生き方について考えさせるとともに、自己の生き方が現代の倫理的課題と結び付いていることをとらえさせる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・哲学対話の手法を使って対話することをとおして、問いをもち自ら考えを深めることの大切さを理解する。</li> <li>・青年期そのものの意義と役割、発達課題などを理解する。</li> <li>・個人と社会の関係について考察できる。</li> <li>・幅広い学習内容が自己の抱える問題に役立ち解決への助けとなることを理解させる。</li> <li>・進路の課題、自己実現などの個人的な問題を、学習通して建設的に考え、解決することの大切さを理解する。</li> </ul>
(2) 自己の生きる課題とのかかわりにおいて、先哲の基本的な考え方を手掛かりとして、人間の存在や価値について思索を深めさせる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・思想、倫理、哲学の原点として古代ギリシア世界、特にソクラテスの思想の基本的知識を理解させる。</li> <li>・無知の知について理解できる。</li> <li>・学習内容を現代の事例に当てはめて考察できる。</li> <li>・学習内容が自分の立場に置き換えて、考察することができる。</li> <li>・宗教について、好き嫌い、信ずるかどうか、との視点ではなく、国際的教養として正しく理解する。</li> <li>・多様な宗教の価値観を理解し、共生する社会の実現について考える。</li> </ul>
<p>人間として</p> <p>ア 人間としての自覚</p> <p>人生における哲学、宗教、芸術のもつ意義などについて理解させ、人間の存在や価値にかかわる基本的な課題について思索させることを通して、人間としての在り方生き方について考えを深めさせる。</p>		
<p>イ 国際社会に生きる日本人としての自覚</p> <p>日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質について、我が国の風土や伝統、外来思想の受容に触れながら、自己とのかかわりにおいて理解させ、国際社会に生きる主体性のある日本人としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p>		

学習指導要領		都立小川高校 学カスタンダード
<p>(3) 現代に生きる人間の倫理的課題について思索を深めさせ、自己の生き方の確立を促すとともに、よりよい国家・社会を形成し、国際社会に主体的に貢献しようとする人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>ア 現代に生きる人間の倫理 人間の尊厳と生命への畏敬、自然や科学技術と人間とのかかわり、民主社会における人間の在り方、社会参加と奉仕、自己実現と幸福などについて、倫理的な見方や考え方を身に付けさせ、他者と共に生きる自己の生き方にかかわる課題として考えを深めさせる。</p> <p>イ 現代の諸課題と倫理 生命、環境、家族、地域社会、情報社会、文化と宗教、国際平和と人類の福祉などにおける倫理的課題を自己の課題とつなげて探究する活動を通して、論理的思考力や表現力を身に付けさせるとともに、現代に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「不平等」「差別」「偏見」といった観点で近代の思想を理解する。</li> <li>・カントの思想を通して、人間尊重の精神を理解する。</li> <li>・道徳法則の学習を通して、自分の行動、集団の行動、社会の行動について考察する。</li> <li>・自主・自律について理解して、自分や学校生活に当てはめて考察する。</li> <li>・サルトルの思想を通して、社会での生きてゆくことを考察する。</li> <li>・主体性の学習を通して、人生において何を求めてゆくのかを考察させる。</li> <li>・人生の選択を自分の進路や現実的問題に置き換えて考察する。</li> <li>・プラグマティズムの学習をとおして、アメリカ的思考法について理解する。</li>   <li>・「平等」に関する思想を「障害者」「女性」といったマイノリティの立場から考える。</li> </ul>	